

# 航空自衛隊

## 技術で見通す “空”と“宇宙”



### 主な業務内容

航空自衛隊では、「行政職技官」と「研究職技官」に大分され、技術的な知見を生かした幅広い業務に携わることができます。「行政職技官」としては、航空自衛隊の航空機やレーダー等各種装備品の新規取得・修理改修に関する技術審査等を担う「整備・技術」、装備品に特化した「補給・調達」、宇宙・サイバー・電磁波といった「新領域」に関する技術的な業務を行うことがあります。「研究職技官」については、宇宙関連装備品の導入や効果的な運用実現に向けた要領の検討を行う「宇宙」、新たに導入する装備品の性能試験・評価を行う「装備実験」、シミュレーションなどの数理科学的な手法により航空防衛力を分析・検討を行う「能力分析」があります。

### アピールポイント

#### 空自ならではの装備品

航空機や搭載武器などを主として、既存の装備品から開発中のものまで航空自衛隊でしか関わることのできない多種多様な装備品に関わることができます。

#### 充実した研修

入省後の研修が充実していて、航空機やレーダーをはじめとした担当する装備品の知識技能について学べるだけではなく、修士課程や博士課程に進学できる機会もあります。

#### 宇宙関連業務への理解

宇宙を専門とした隊員のような、宇宙状況把握の業務に従事する方たちと一緒に仕事をすることができ、宇宙に関する業務の知見を深めることができます。また、JAXAをはじめとした宇宙関連に携わる方と仕事をする機会があり、最新の宇宙関連技術に触れることができます。

#### 技術職員から一言

(男性職員) 入省7年目

採用区分：一般職(大卒程度) 電気・電子・情報

航空自衛隊において宇宙という新領域の取組に挑戦することで大きな成長を感じることができます。



※技官も業務によっては自衛官と同じ作業服で勤務することがあります！